令和７年度 第１回 優っくり村乃木坂 運営推進会議 議事録

日　時：令和７年５月30日（金曜日）
場　所：優っくり村乃木坂 和室
参加者：

- 神田様（北青山地域包括支援センター）
- 西原様（ご家族・ご本人）
- 村松様（ご家族（ご主人・長女様）・ご本人）
- 和田（管理者/ケアマネ）
- 加藤（介護職員）
- 佐藤（看護職員）

【議題】

1. 運営推進会議の目的と役割の説明
2. 事業所の登録状況と利用者数の報告
3. ヒヤリハットと事故報告の共有
4. 職員体制と看護師配置の説明
5. 日々の活動とイベントの紹介
6. 質疑応答と意見交換
7. 次回会議の日程調整

【振り返り】

- 和田より、運営推進会議の目的として、地域住民や関係者との情報共有、事業所の運営状況の報告・確認を通じ、より良いサービス提供を目指す場であることを説明。
- 和田より、４月末時点で登録者11名、５月に２名が退所し、現在は９名となっていること、登録定員25名に対し空きが多く、稼働率が40%であることを報告。
- 和田より、平均要介護度が3.18と比較的高めであることを説明。
- 加藤より、４月１日～５月30日までにヒヤリハット54件、特に居室内での転倒リスクが高い傾向にあることを共有。

【進捗状況】

- 和田が登録状況と稼働率（登録40%、泊まり48.4%）を報告。
- 加藤が送迎前の持参物チェックシートを活用した対応策を紹介。

- 和田が職員体制として 15 名在籍、常勤換算 11 名であることを説明。
- 看護師が 2 名常勤配置され、週 7 日間、日中に看護師が常駐していることを報告。
- 加藤が、手作りおやつ、ドライブレク、オレンジカフェ参加など、日々の活動について紹介。

【問題点と対応】

問題	対応策
登録者数の大幅な減少（3 月～4 月での逝去や施設移行）	地域でお困りの方へのアプローチを強化し、新規利用者受け入れを積極的に進める方針
利用者の忘れ物が多い	チェック用紙を用いた持参物確認を徹底
居室内での転倒リスクが高い	眠りスキャン等のセンサーを全居室に導入予定（補助金活用）
小規模多機能の仕組みの地域理解が不十分	出張説明会や地域包括ケア会議での周知活動を強化予定

【決定事項】

- 医療的ケアが必要な重度者も積極的に受け入れる方針。看護師常駐の強みを活かし、退院直後のケースも対応。
- 全居室に眠りスキャン等のセンサー導入を目指し（現在、3 台保有）次世代介護事業補助金の活用を視野に検討。
- 手作りおやつの提供を週 3～4 回実施し、活動参加と満足度向上を目指す。
- 地域連携強化のため、認知症カフェの自主開催を目指す。現在は高輪台との合同開催だが、今後は乃木坂単独開催を検討。
- 次回会議を令和 7 年 7 月 30 日（水）に開催することを決定。

【備考】

- 参加者より、地域との接点がさらに広がるよう、地域住民が参加できる行事の企画について前向きな意見が寄せられた。
- 神田様より、地域包括支援センターとしても、広報協力や情報提供に協力する旨の発言あり。